

高砂熱学工業株式会社

2022年3月期第2四半期 決算説明会

2021年11月18日



 高砂熱学

目次

**1. 2022年3月期第2四半期 連結決算概要
2022年3月期連結業績予想・株主還元**

取締役CFO 原 芳幸 P.2

2. 中期経営計画に関する進捗

社長COO 小島 和人 P.11

Appendix. 資料集

P.19



1.2022年3月期第2四半期 連結決算概要 2022年3月期 連結業績予想・株主還元

取締役CFO
原 芳幸

2022年3月期第2四半期決算の特徴

<連結業績>

- ◆国内外の一部工事における工程遅延により、工事進捗が上がらず、売上・利益を押し下げ。
- ◆主に海外において、コロナ影響による労務費の増加、資機材高騰により、工事採算が悪化し、各種段階利益を押し下げ。
- ◆売上総利益率は1Qより改善 1Q：10.8%⇒累計2Q：11.8%

<事業環境>

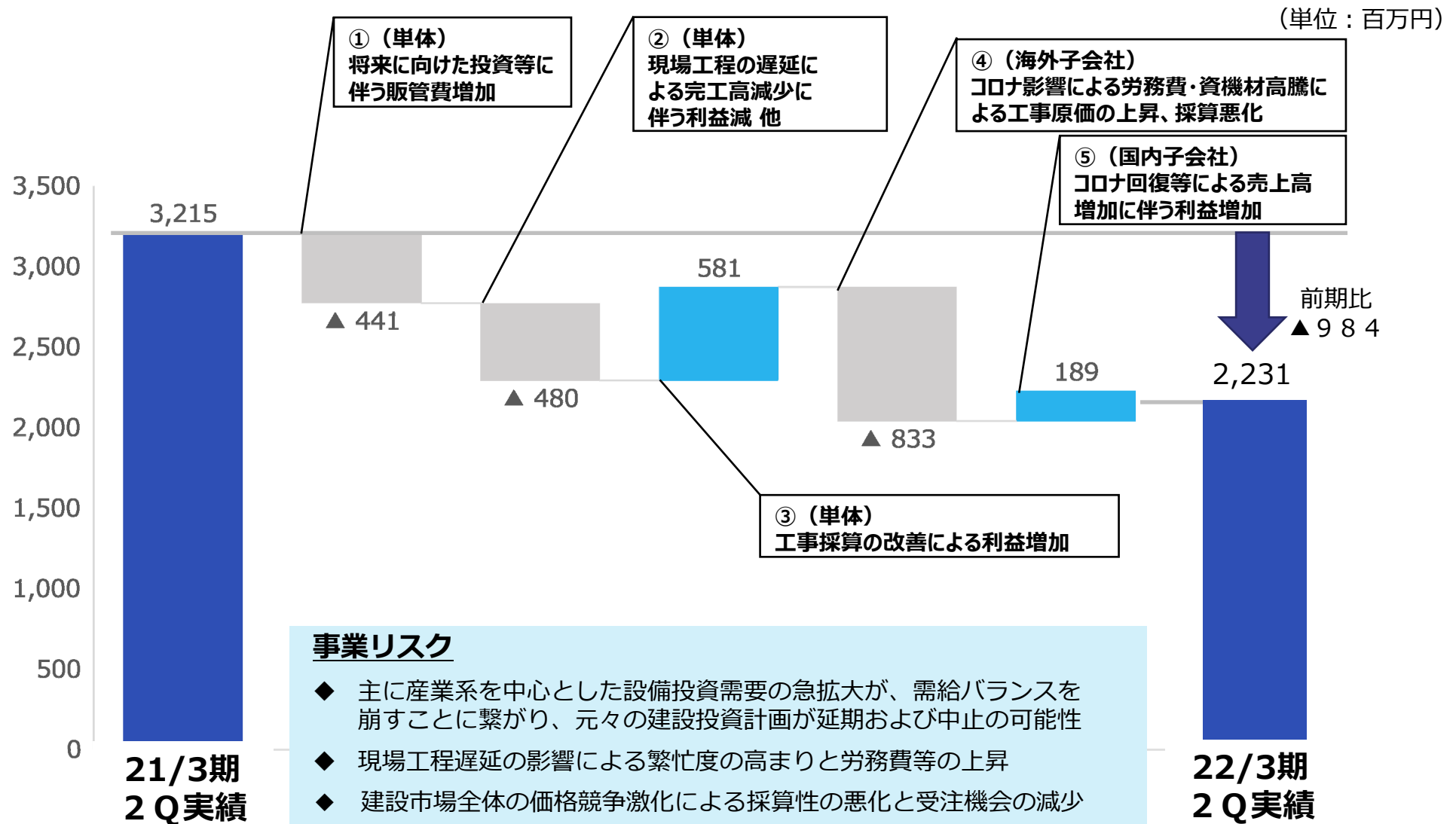
- ◆半導体・電子デバイス・電池関連を中心とした設備投資が継続
- ◆リニューアルや中小規模工事においては、新型コロナウイルス影響による計画延期等から徐々に回復傾向

2022年3月期第2四半期 連結業績サマリー

(単位：百万円、%)

	21/3期2Q		22/3期2Q	
	実績	実績	増減	増減率
売上高	117,655	122,275	+4,619	+3.9
売上総利益 (売上総利益率)	14,677 (12.5)	14,472 (11.8)	▲205 (▲0.7)	▲1.4 -
営業利益 (営業利益率)	3,215 (2.7)	2,231 (1.8)	▲984 (▲0.9)	▲30.6 -
経常利益 (経常利益率)	3,730 (3.2)	3,055 (2.5)	▲675 (▲0.7)	▲18.1 -
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (四半期純利益率)	2,024 (1.7)	1,786 (1.5)	▲238 (▲0.2)	▲11.8 -
受注高	138,090	153,921	+15,830	+11.5
繰越高	241,696	263,095	+21,399	+8.9

連結営業利益の主な増減要因（前期比）



(補足資料) 国際事業の状況 – 地域別内訳

(注) 受注高、売上高のセグメント間取引については、調整前。

地域別需要見通しと事業リスク

需要見通し

◆ 中国

前期の営業情報量減少の状況から、主に建築一括工事や産業系案件を中心に回復の兆し。

◆ 東南アジア

コロナ感染者は、ピーク時を超え減少傾向にあり、産業系のうち半導体・製薬・電子機器工場等を中心に受注活動展開。

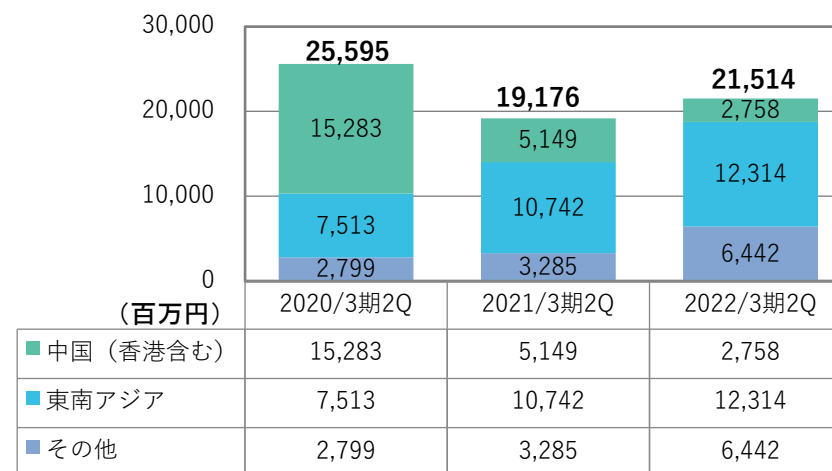
◆ その他地域 (メキシコ・インドICLEAN)

資材価格の高騰や渡航禁止措置が一部残るものの新たな販路開拓や豊富な情報量を基に受注活動展開。

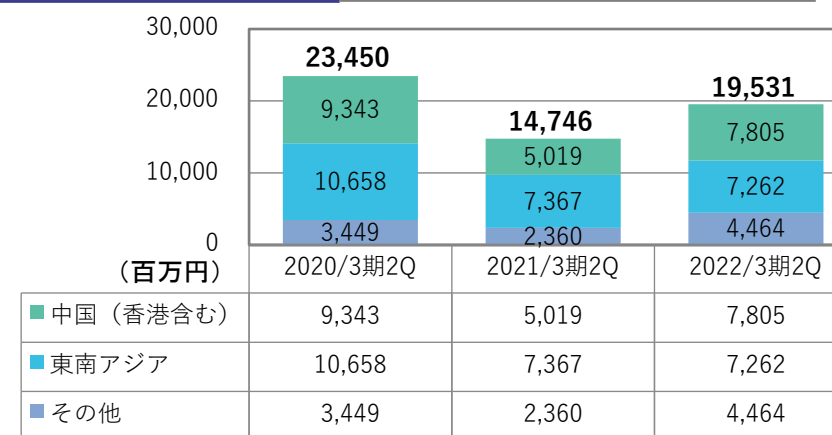
事業リスク

- ◆ 予測不能なロックダウン等による施工管理の制限・停止。コロナ対策費用に伴う採算悪化
- ◆ 原油価格高騰等による資材価格の更なる高騰

受注高推移

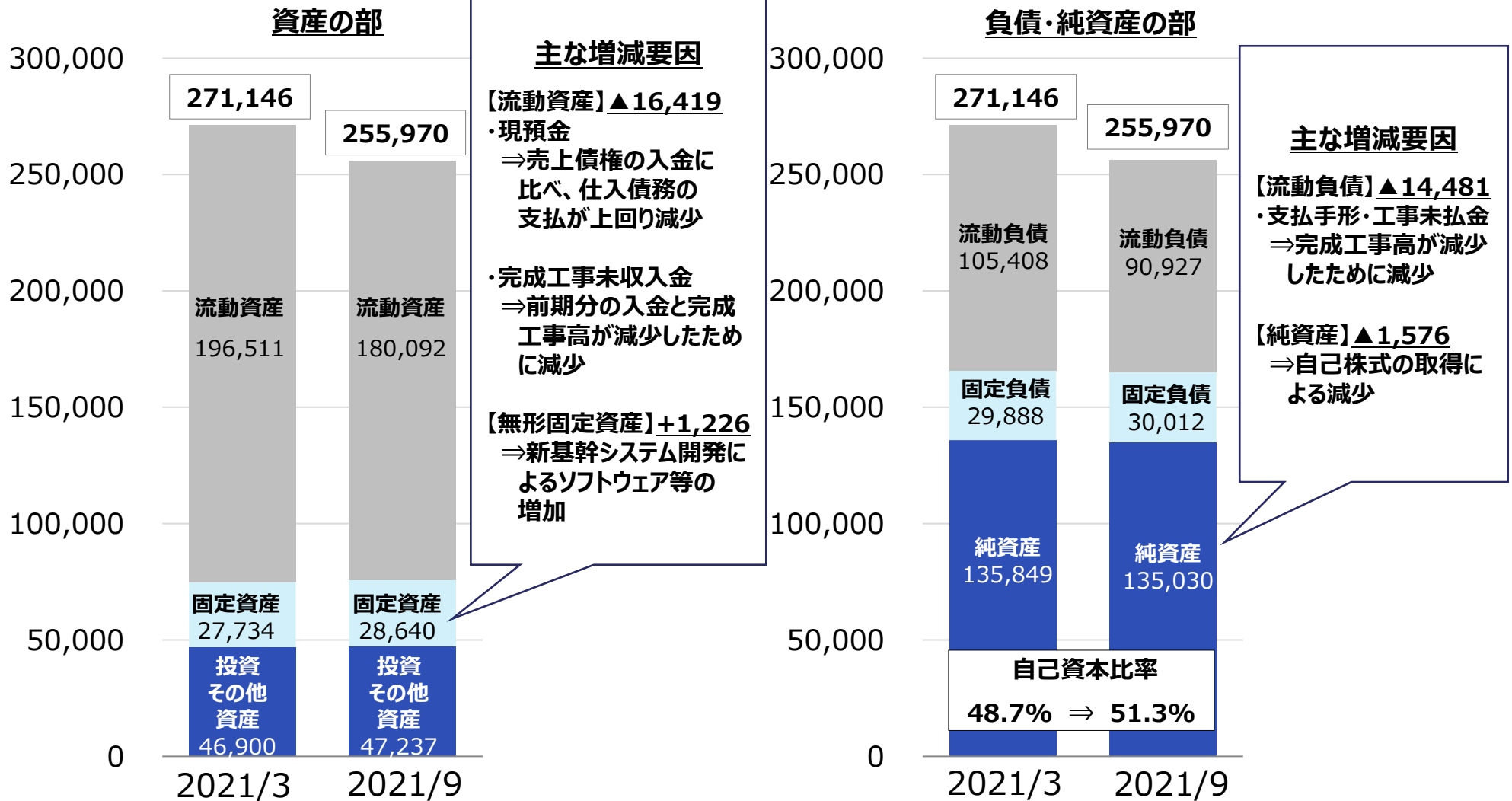


売上高推移



連結貸借対照表

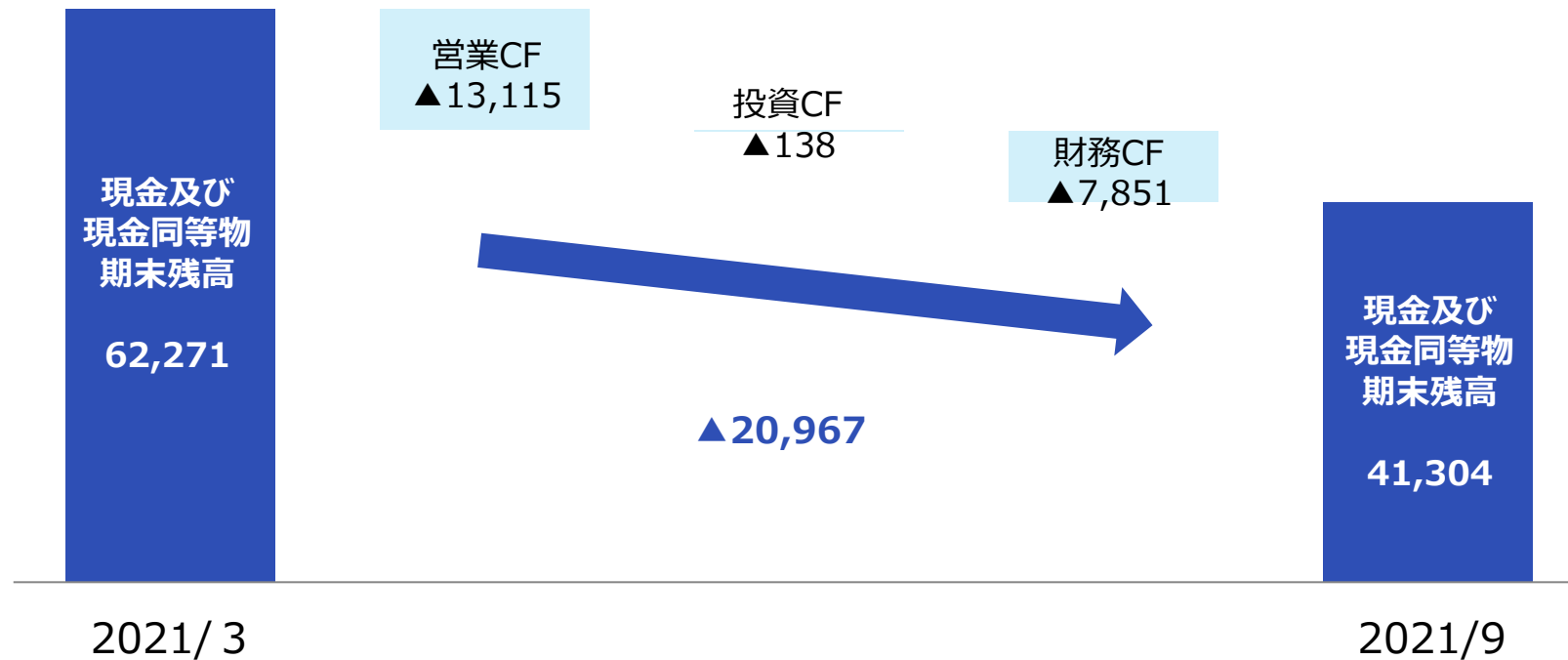
(単位：百万円)



キャッシュ・フロー

現金及び現金同等物期末残高の推移

(単位：百万円)



(注) 現金及び現金同等物に係る換算差額除く

- ◆ 営業CFは、仕入債務の減少が売上債権の減少を上回ったこと等により 21/3月期比▲13,115減少
- ◆ 財務CFは、自己株式取得のための預託金の増加等により 21/3月期比▲7,851減少

2022年3月期 業績予想

- ◆ 大型の工場物件ならびに再開発案件の順調な進捗を見込むとともに、施工体制強化と生産性向上に資する取り組みにより、前期比増収増益の見通し。
- ◆ 成長戦略に基づく投資の実行により販管費は増加見込みだが、営業利益以降の利益率は前期水準を見込む。
- ◆ 国内外での産業空調への底堅い投資状況や中小規模工事への投資意欲が回復傾向にあり、受注高は前期比で上回る見込みだが、採算性や施工体制を勘案した受注活動を展開する。

	21/3期	22/3期 2Q			22/3期		
	実績	実績	前年同期比 増減	増減率	予想	前期比増減	増減率
売上高	275,181	122,275	+4,619	+3.9	300,000	+24,819	+9.0
売上総利益 (売上総利益率)	36,845 (13.4)	14,472 (11.8)	▲205	—	42,900 (14.3)	+6,055 (+0.9)	+16.4 —
営業利益 (営業利益率)	12,300 (4.5)	2,231 (1.8)	▲984	—	13,800 (4.6)	+1,500 (+0.1)	+12.2 —
経常利益 (経常利益率)	13,902 (5.1)	3,055 (2.5)	▲675	—	15,000 (5.0)	+1,098 (▲0.1)	+7.9 —
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	10,116 (3.7)	1,786 (1.5)	▲238	—	11,000 (3.7)	+884 (0.0)	+8.7 —
ROE	8.0	—	—	—	8.0以上	—	—

受注高	287,501	153,921	+15,830	+11.5	295,000	+7,499	+2.6
-----	---------	----------------	----------------	--------------	----------------	---------------	-------------

株主還元方針・自己株式取得

株主への利益還元を経営上の最重要課題の一つと位置づけ

株主還元方針

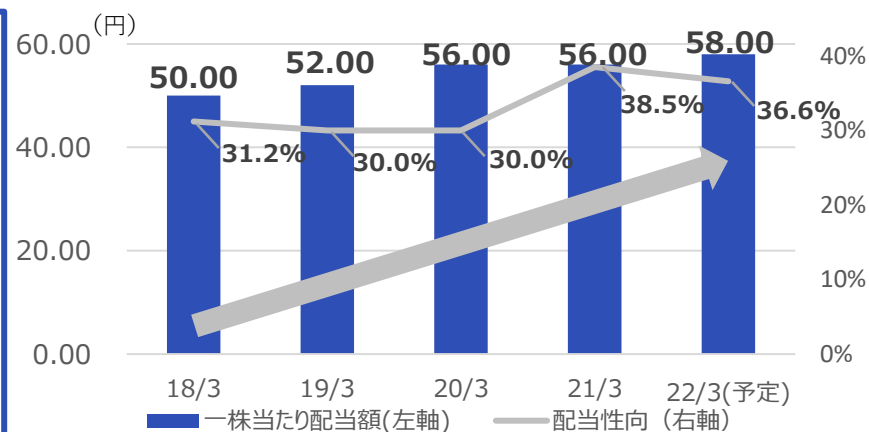
株主還元は配当を基本とし、現中期経営計画
 “iNnovate on 2023 go beyond!” の
 「対象期間中は減配を行わず、当社グループの
 利益成長に応じ、配当を増加する」方針。

自己株式の取得は中長期的に株主価値および
 企業価値を高める観点より、財務健全性と資本
 効率を踏まえつつ、市場環境や資本水準、事業
 投資機会等を総合的に勘案し機動的に実施。

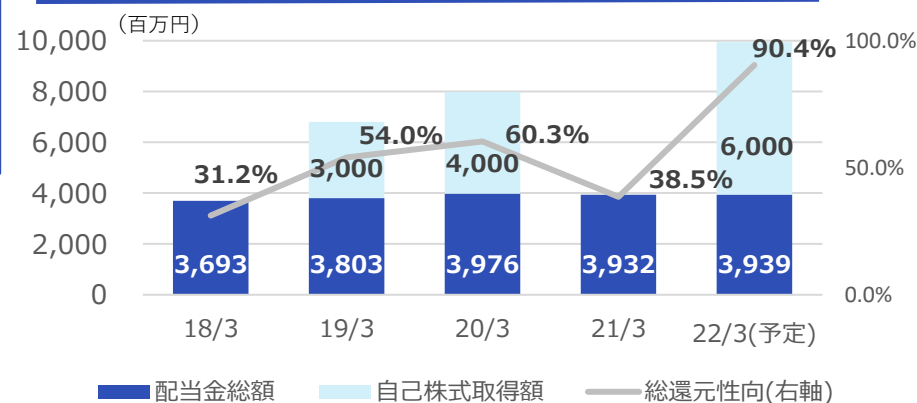
自己株式取得

(2021.8.6) 60億円、400万株を上限
 とした自己株式の取得決議に基づき実施中

配当の推移



配当金総額・自己株式取得額・総還元性向の推移



2. 中期経営計画に関する進捗

社長COO
小島 和人



基本方針と3つの成長戦略

2020年度～2023年度

中期経営計画

“iNnovate on 2023 go beyond!”
— 経営基盤の強靱化 —

中期経営計画の基本方針

総合設備業への確実な進化 グループ総合力を発揮して、 総合設備業への進化を目指す	第2第3の柱となる事業を構築 グローバル市場の経営の現地化、環境 技術・フロンティアビジネスの育成に よる新たな収益源を構築する	エンゲージメントの更なる向上 社員の意欲・能力を引き出す働き方 改革に取り組み、社員のワークライ フバランスを向上させる
---	--	--

中期経営計画 3つの成長戦略

国内事業の 強靱化	国際事業の 変革	環境事業への 挑戦
----------------------	---------------------	----------------------

高砂熱学のエンゲージメントを土台として進める
社員と会社が信頼し合い、社会に貢献すること⇆人の和

成長戦略①「国内事業の強靱化」の進捗 –【施工プロセスの変革】

■ 事業基盤の強靱化に向けて、施工プロセスの抜本的な改革に挑戦

技術力と生産性の向上を実行することで、高品質な設備を提供し、現場における働き方改革を実現する

2022年4月(予定)に、
首都圏を対象としたオフサイトでの生産拠点<T-Base®>を本格稼働

T-Base®のプラットフォームとしての役割

2021年度の実施状況



施工技術開発拠点



加工・組立工場



物流基地



社員・作業員教育・育成センター



多様性追求の場

- ✓ 空調設備機器および配管・ダクト類の標準ユニット支持架台の開発
- ✓ 協力会社、メーカー・代理店と連携したプレハブ加工・組立・試験の実施
- ✓ ICタグを活用した、タイムリーな現場への納品対応の実施
- ✓ 若手社員・作業員に対する教育センターとして、実装設備を展示
- ✓ 性別・年齢に捉われず、多様な人財の雇用によるオフサイト生産を実施

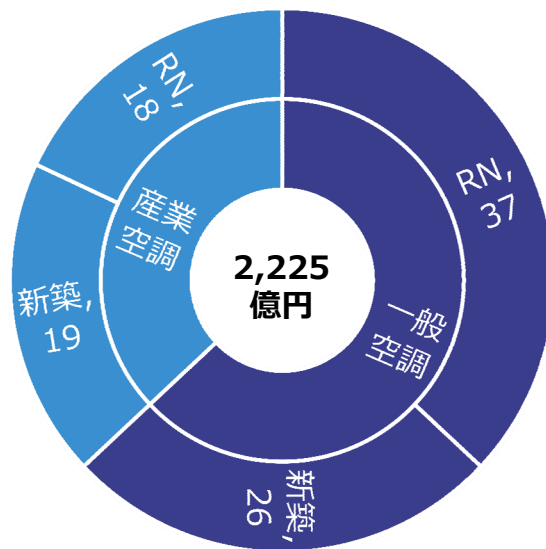
成長戦略①「国内事業の強靱化」の進捗 –【全社最適受注】

■ 全社最適受注

一般新築工事よりも短工期である“産業設備”と工程遅延リスクが少ない“リニューアル工事”を選別受注することで、安定的な利益確保の実現と、顧客との密着度を深め創意工夫の発揚を促し、社員のやりがいを高めることなど、働き方改革を実現する

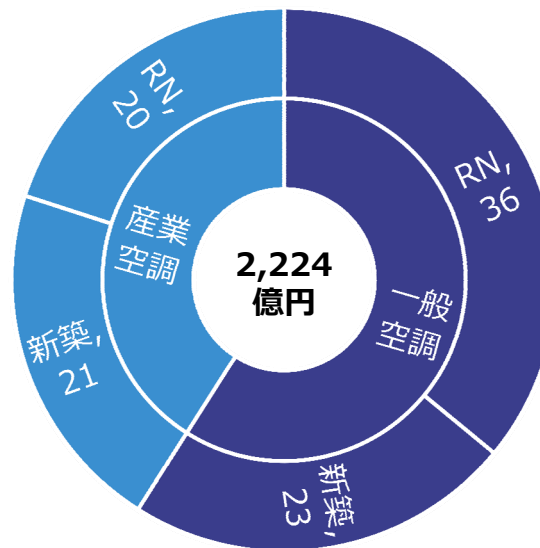
単位：％
RN：リニューアル工事

2020年3月期
(前中期経営計画 最終年度)
工事種別受注工事高 (個別)



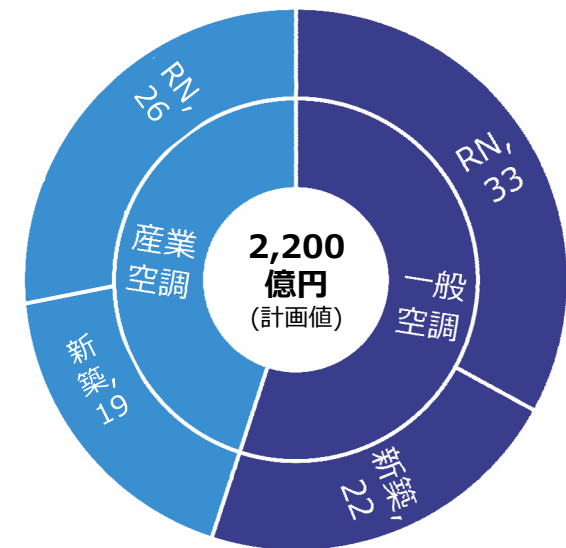
産業空調 受注比率：37%
RN工事 受注比率：55%

2021年3月期
(現中期経営計画 初年度)
工事種別受注工事高 (個別)



産業空調 受注比率：41%(対前年度比+4%)
RN工事 受注比率：56%(対前年度比+1%)

2022年3月期(見通し)
(現中期経営計画 2年目)
工事種別受注工事高 (個別)

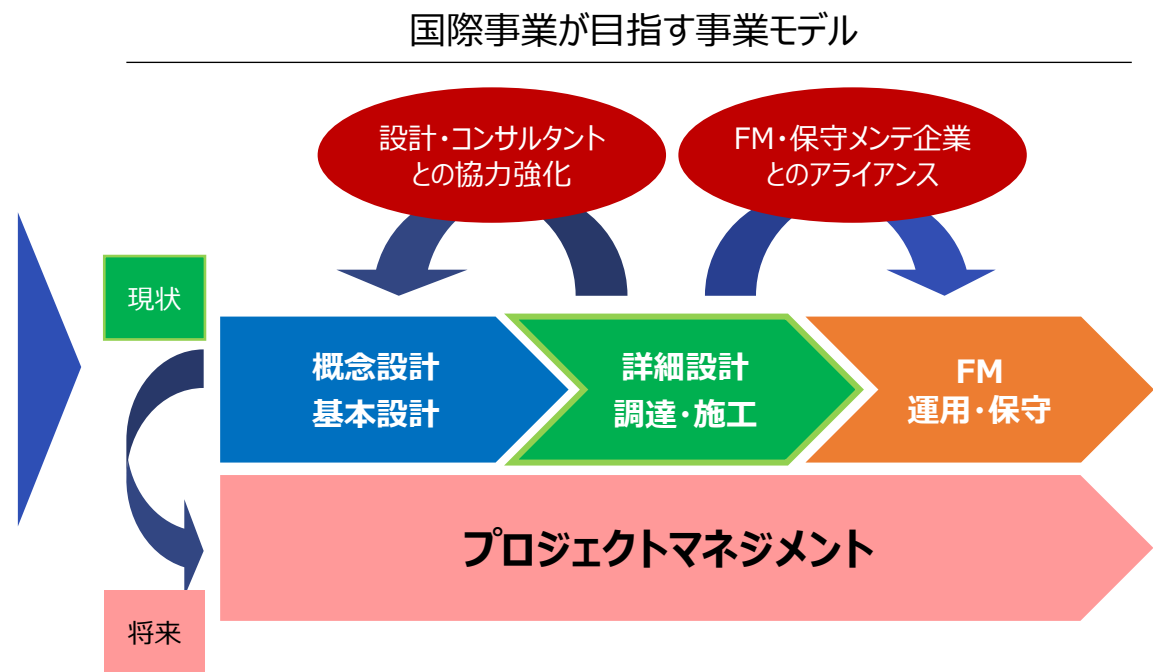
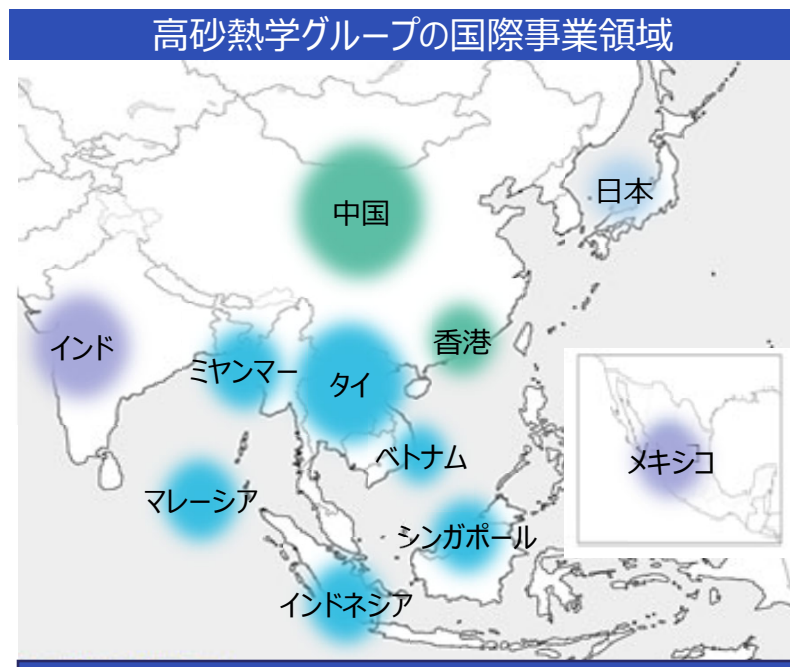


産業空調 受注比率：45%(+4%増の見通し)
RN工事 受注比率：59%(+3%増の見通し)

成長戦略② 「国際事業の変革」の進捗 – 【経営安定化と着実な成長】

■ 国際事業の概況

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響が残り、エレクトロニクス・半導体分野を中心に受注高・売上高は前年同期比で増加したものの、利益面の回復には至らず。手持ち工事が徐々に増加しており、それに備えた工事消化体制の強化を図りながら、利益面での回復を目指す。
- 国際事業が目指す事業モデルの確立に向けて、製薬関連施設の建設に強みを持つ海外現地のコンサルタントとアライアンスを構築。具体案件創出に向けて協議を実施中。



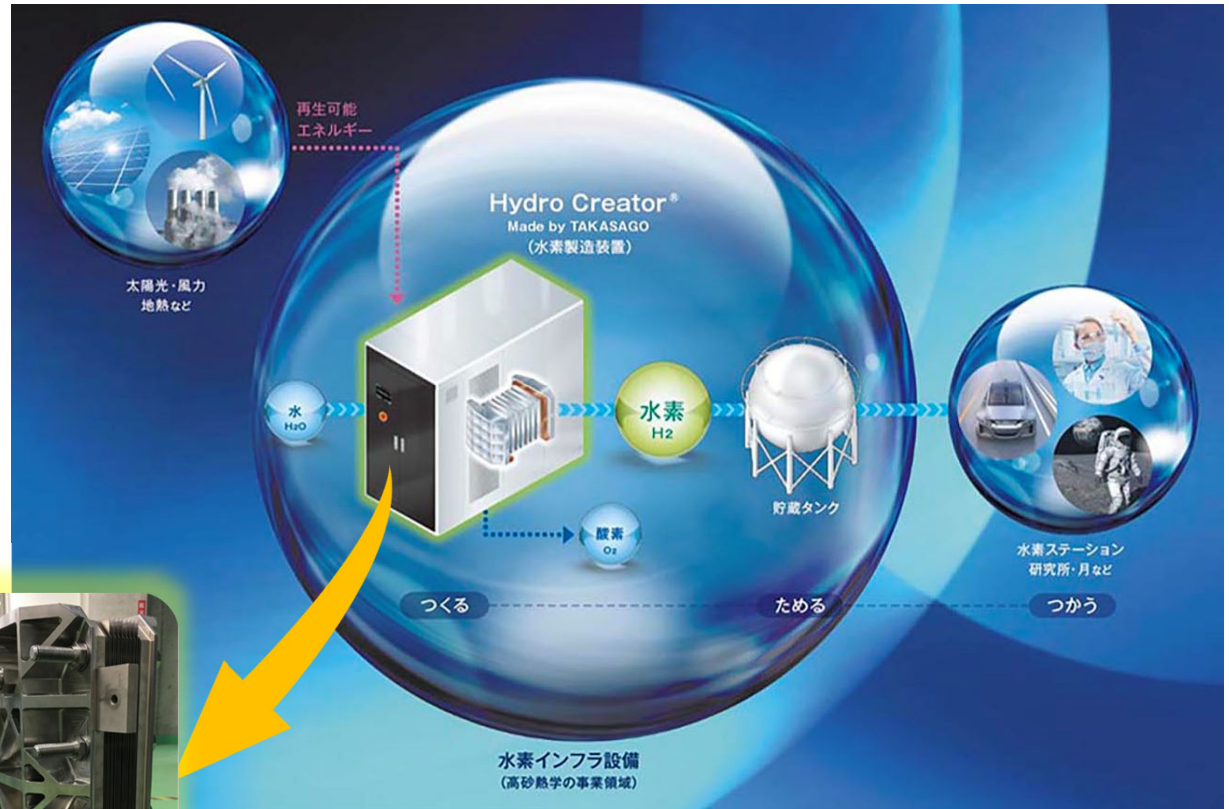
成長戦略③ 「環境事業への挑戦」の進捗 – 【水電解装置の大型化】

高砂熱学が展開する水素事業

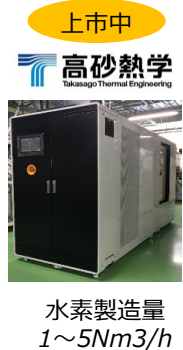
カーボンニュートラルの実現に向けて、『空調設備工事の実績』と『水素技術開発で培ったノウハウ』を掛け合わせ、再生可能エネルギーから水素を製造するインフラ設備のEPC（設計・調達・施工）とO&M（運用・保守）を展開していく

高砂熱学が目指す水素製造装置のポジション

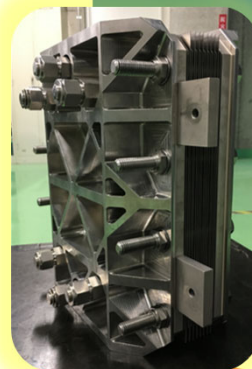
蓄積した水素技術を応用し、水素市場の社会実装に向けた**中規模な水電解装置の開発を実現する**



2021年11月17日 日本経済新聞【次世代エネルギー特集（水素）】に掲載された当社広告



大型の水素製造装置の開発に着手



※大型水素製造装置の電解セル イメージ

**中期経営計画の成長投資枠より
水素技術の研究開発を実行**

水素製造量 Nm3/h

成長戦略③ 「環境事業への挑戦」の進捗 –【月面環境での水素生成】

日本として初となる月面での水素利用に向けた技術開発のプログラムに採択

2021年10月19日 内閣府が主導する宇宙開発利用加速化戦略プログラム（通称：スターダストプログラム）に採択。将来の月面経済圏の構築に向けて、本業で培った水素技術を応用して月面で利用する水素技術の開発に挑戦中

令和3年度宇宙開発利用推進研究開発（月面におけるエネルギー関連技術開発（水電解技術開発））に係る委託先の採択結果について



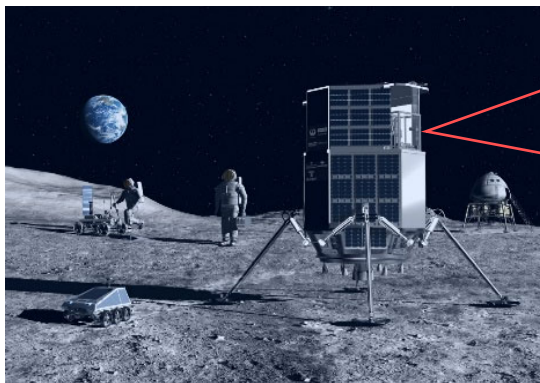
経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

2021年10月19日
製造産業局
航空機武器宇宙産業課
宇宙産業室

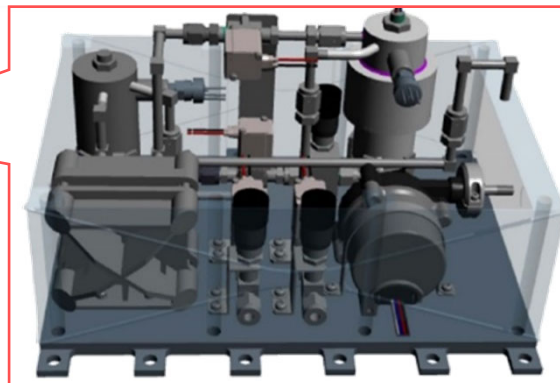
令和3年度宇宙開発利用推進研究開発（月面におけるエネルギー関連技術開発（水電解技術開発））に係る委託先の公募について、2021年8月6日の募集開始から2021年9月6日の締切までに、2件の申請がありました。

その内容について、外部有識者による第三者委員会において審査を行った結果、次のとおり委託先の採択予定者を決定しましたのでお知らせいたします。

- 高砂熱学工業株式会社（法人番号：301001008749）



水電解装置を搭載した月面着陸船のイメージ



現在製作している月面向け水電解装置のイメージ図



2021年7月13日 宇宙政策担当大臣に月面産業ビジョンを提出
※左から5人目 高砂熱学工業(株) 小島社長COO

中期経営計画 KGI -Key Goal Indicator-

■ 高砂熱学グループ 2023年度のKGIを設定

➤ 【4つのKGI：売上高、経常利益、ROE、CO₂削減】



* 新型コロナウイルスの影響が2021年度後半より漸減することを前提

Appendix. 資料集



受注および販売の状況（単体・子会社別業績）

（単位：百万円、％）

		2020/3期 2Q	2021/3期 2Q	2022/3期 2Q	
		実績	実績	実績	前期比
受注高	単体	123,920	105,465	115,684	+9.7
	国内子会社	18,868	18,051	20,024	+10.9
	海外子会社	25,595	19,176	21,514	+12.2
	調整額	▲4,619	▲4,602	▲3,303	-
	合計	163,765	138,090	153,921	+11.5
売上高	単体	108,397	89,938	88,149	▲2.0
	国内子会社	17,768	17,004	18,816	+10.7
	海外子会社	23,450	14,746	19,531	+32.4
	調整額	▲4,159	▲4,032	▲4,222	-
	合計	145,457	117,655	122,275	+3.9
連単倍率（売上高）		1.34倍	1.31倍	1.39倍	

受注および販売の状況（連結・事業別）

（単位：百万円、％）

			2020/3期 2Q		2021/3期 2Q		2022/3期 2Q		
			実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	前期比
受注高	設備工事	一般設備	91,514	55.9	83,642	60.6	89,588	58.2	+7.1
		産業設備	68,770	42.0	51,363	37.2	61,169	39.8	+19.1
	設備機器の製造・販売		3,378	2.0	2,983	2.1	3,097	2.0	+3.8
	その他		102	0.1	100	0.1	66	0.0	▲33.8
	合計		163,765	100.0	138,090	100.0	153,921	100.0	+11.5
	（うち海外）		(27,916)	(17.0)	(18,328)	(13.3)	(22,914)	(14.9)	(+25.0)
	（うち保守・メンテナンス）		(12,565)	(7.7)	(11,648)	(8.4)	(13,018)	(8.5)	(+11.8)
売上高	設備工事	一般設備	84,714	58.2	64,860	55.1	66,851	54.7	+3.1
		産業設備	57,795	39.7	50,337	42.8	52,676	43.1	+4.6
	設備機器の製造・販売		2,844	2.0	2,357	2.0	2,680	2.2	+13.7
	その他		102	0.1	100	0.1	66	0.0	▲33.8
	合計		145,457	100.0	117,655	100.0	122,275	100.0	+3.9
	（うち海外）		(23,545)	(16.2)	(14,840)	(12.6)	(19,527)	(16.0)	(+31.6)
	（うち保守・メンテナンス）		(10,901)	(7.5)	(10,527)	(8.9)	(11,823)	(9.7)	(+12.3)
繰越高	設備工事	一般設備	174,541	66.5	161,618	66.8	168,462	64.0	+4.2
		産業設備	86,577	33.0	77,984	32.3	92,794	35.3	+19.0
	設備機器の製造・販売		1,461	0.5	2,093	0.9	1,837	0.7	▲12.2
	合計		262,579	100.0	241,696	100.0	263,095	100.0	+8.9
	（うち海外）		(32,734)	(12.5)	(31,561)	(13.1)	(32,840)	(12.5)	(+4.1)
	（うち保守・メンテナンス）		(3,849)	(1.5)	(2,887)	(1.2)	(2,594)	(1.0)	(▲10.1)

（注）受注高、売上高および繰越高のセグメント間取引については、相殺消去している。

四半期別受注・売上実績（連結）

（単位：億円、％）

		受注				売上					
		2021/3期		2022/3期		前期比	2021/3期		2022/3期		前期比
		四半期	累計	四半期	累計		四半期	累計	四半期	累計	
1Q	設備工事業	715	715	768	768	+7.4	524	524	542	542	+3.3
	一般設備	468	468	462	462	▲1.4	306	306	299	299	▲2.0
	産業設備	247	247	306	306	+23.9	218	218	242	242	+10.7
	設備機器の製造・販売事業	16	16	14	14	▲11.9	9	9	13	13	+37.7
	その他	0	0	0	0	▲15.3	0	0	0	0	▲15.3
	合計	732	732	783	783	+6.9	535	535	555	555	+3.9
	(うち海外)	(55)	(55)	(125)	(125)	(+126.3)	(60)	(60)	(94)	(94)	(+55.9)
(うち保守・メンテナンス)	(62)	(62)	(73)	(73)	(+18.5)	(47)	(47)	(54)	(54)	(+13.2)	
2Q	設備工事業	634	1,350	739	1,507	+11.7	627	1,151	653	1,195	+3.8
	一般設備	367	836	433	895	+7.1	342	648	368	668	+3.1
	産業設備	266	513	305	611	+19.1	284	503	284	526	+4.6
	設備機器の製造・販売事業	13	29	16	30	+3.8	14	23	13	26	+13.7
	その他	0	1	0	0	▲33.8	0	1	0	0	▲33.8
	合計	648	1,380	756	1,539	+11.5	641	1,176	667	1,222	+3.9
	(うち海外)	(127)	(183)	(103)	(229)	(+25.0)	(88)	(148)	(101)	(195)	(+31.6)
(うち保守・メンテナンス)	(54)	(116)	(56)	(130)	(+11.8)	(57)	(105)	(63)	(118)	(+12.3)	
3Q	設備工事業	553	1,903				698	1,849			
	一般設備	281	1,117				367	1,015			
	産業設備	272	785				330	833			
	設備機器の製造・販売事業	13	42				16	39			
	その他	0	1				0	1			
	合計	567	1,947				714	1,890			
	(うち海外)	(82)	(265)				(74)	(223)			
(うち保守・メンテナンス)	(57)	(173)				(62)	(168)				
4Q	設備工事業	913	2,816				843	2,692			
	一般設備	438	1,555				496	1,511			
	産業設備	475	1,260				348	1,181			
	設備機器の製造・販売事業	15	57				18	57			
	その他	0	1				0	1			
	合計	928	2,875				861	2,751			
	(うち海外)	(91)	(356)				(120)	(343)			
(うち保守・メンテナンス)	(65)	(238)				(73)	(241)				

業績サマリー（個別）

（単位：百万円、％）

	2020/3期 2Q	2021/3期 2Q	2022/3期 2Q		
	実績	実績	実績	増減	増減比
売上高	108,397	89,938	88,149	▲1,788	▲2.0
売上総利益 （売上総利益率）	14,040 (13.0)	10,760 (12.0)	10,823 (12.3)	+63 (+0.3)	+0.6 -
営業利益 （営業利益率）	6,594 (6.1)	3,118 (3.5)	2,740 (3.1)	▲377 (▲0.4)	▲12.1 -
経常利益 （経常利益率）	7,943 (7.3)	4,539 (5.0)	4,702 (5.3)	+163 (+0.3)	+3.6 -
四半期純利益 （四半期純利益率）	5,790 (5.3)	2,871 (3.2)	3,433 (3.9)	+561 (+0.7)	+19.6 -
受注高	123,920	105,465	115,684	+10,219	+9.7
繰越高	228,510	208,090	228,700	+20,610	+9.9

工事種類別受注・完成工事高（個別）

工事種類別受注工事高（個別）

（単位：億円、％）

		2020/3期			2021/3期			2022/3期		
		2Q	通期	通期 構成比	2Q	通期	通期 構成比	2Q	構成比	前期比
合 計		1,239	2,225	100.0%	1,054	2,224	100.0%	1,156	100.0%	+9.7
一般設備・ 産業設備	一般設備	802	1,404	63.1%	724	1,319	59.3%	771	66.7%	+6.5
	産業設備	437	820	36.9%	330	905	40.7%	385	33.3%	+16.7
新築・ リニューアル	新築	565	995	44.8%	367	971	43.7%	398	34.4%	+8.4
	リニューアル	673	1,229	55.2%	687	1,253	56.3%	758	65.6%	+10.4

工事種類別完成工事高（個別）

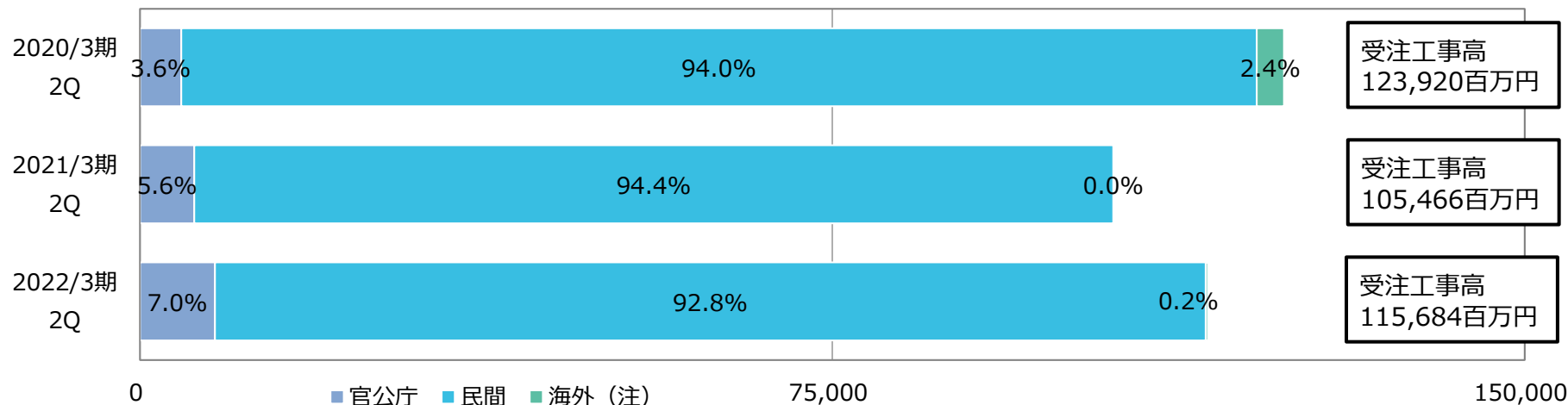
（単位：億円、％）

		2020/3期			2021/3期			2022/3期		
		2Q	通期	通期 構成比	2Q	通期	通期 構成比	2Q	構成比	前期比
合 計		1,083	2,429	100.0%	899	2,117	100.0%	881	100.0%	▲2.0
一般設備・ 産業設備	一般設備	740	1,653	68.1%	543	1,276	60.3%	549	62.4%	+1.3
	産業設備	343	776	31.9%	356	841	39.7%	331	37.6%	▲6.9
新築・ リニューアル	新築	461	1,050	43.2%	396	847	40.0%	380	43.1%	▲4.2
	リニューアル	622	1,379	56.8%	502	1,270	60.0%	501	56.9%	▲0.2

（注）当社国際G事業統括部のみの数値、海外は現地法人（連結子会社）を中心に展開している。

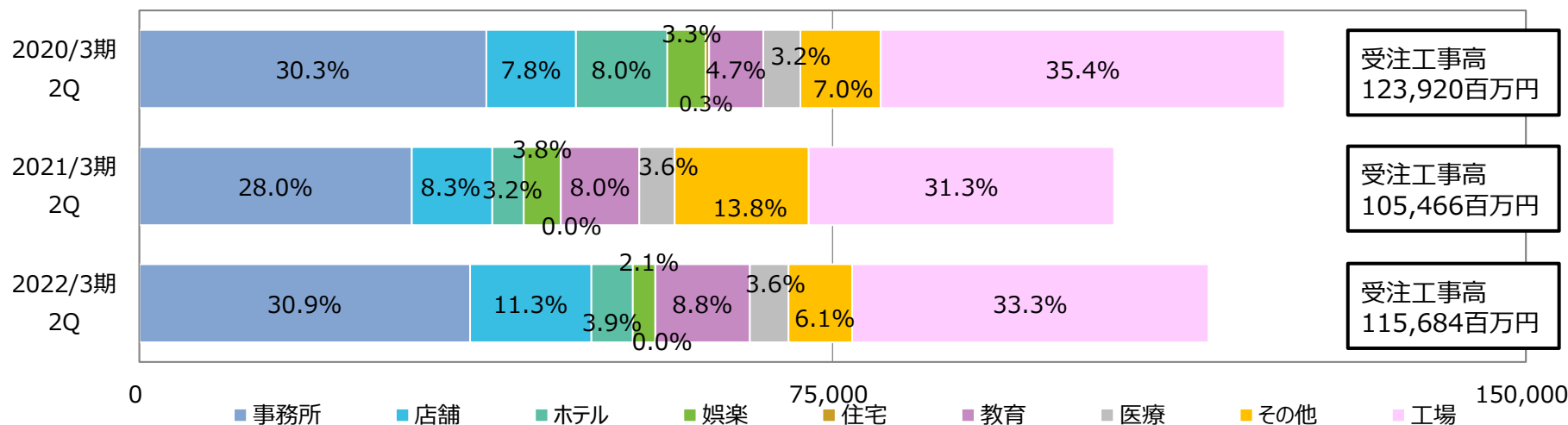
受注工事高内訳（個別）

官公庁・民間・海外



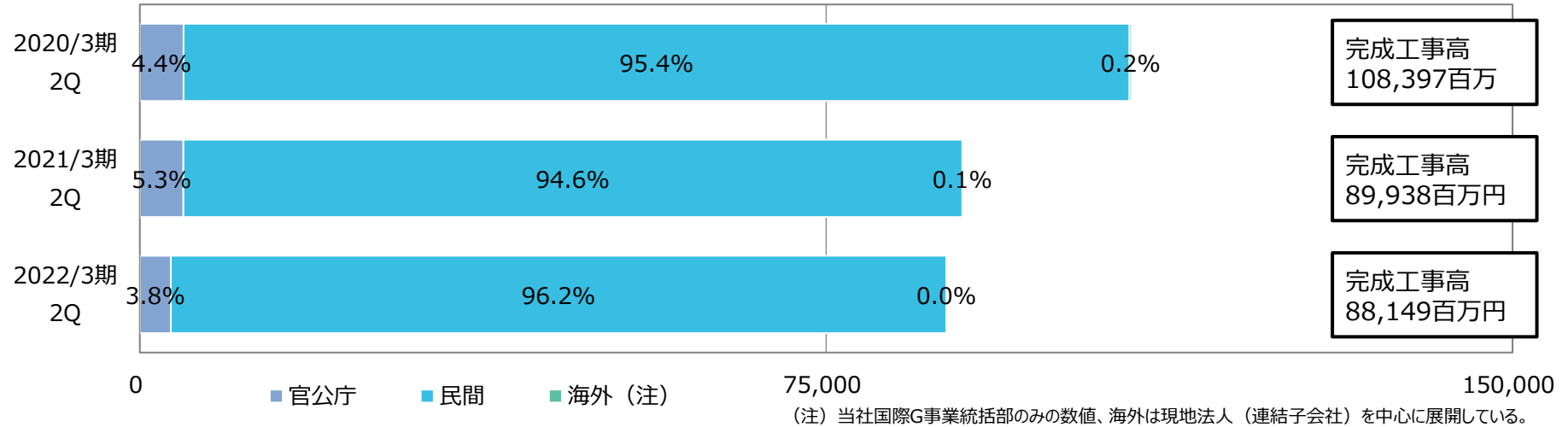
(注) 当社国際G事業統括部のみの数値、海外は現地法人（連結子会社）を中心に展開している。

用途別

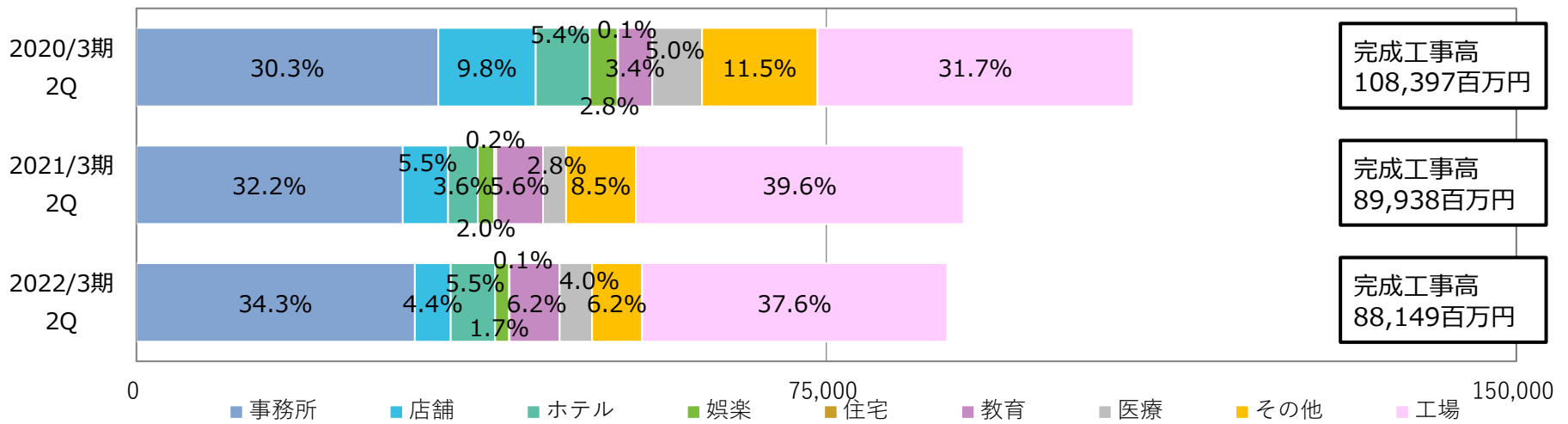


完成工事高内訳（個別）

官公庁・民間・海外

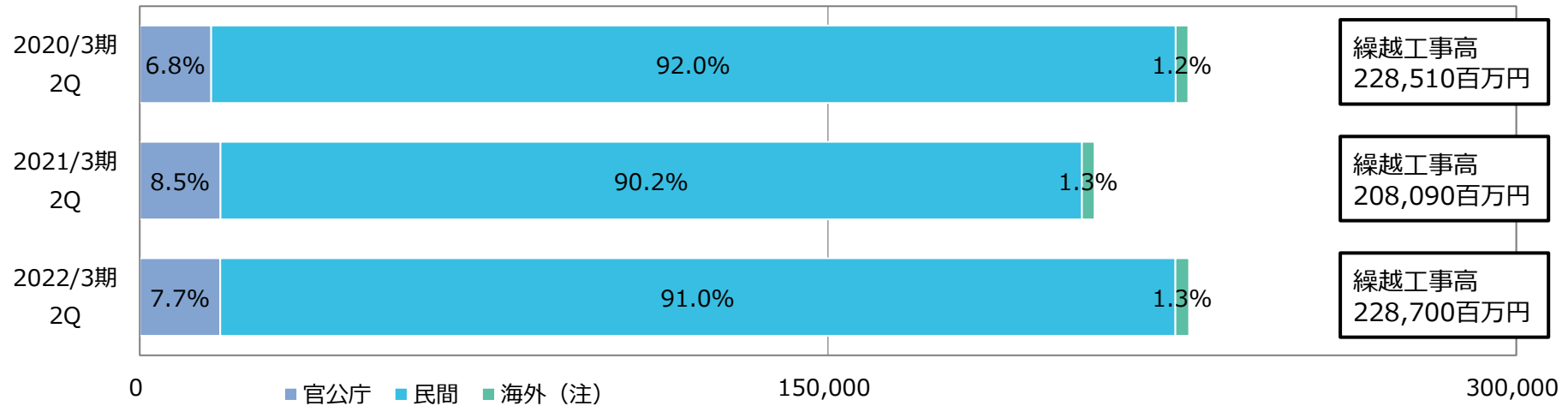


用途別



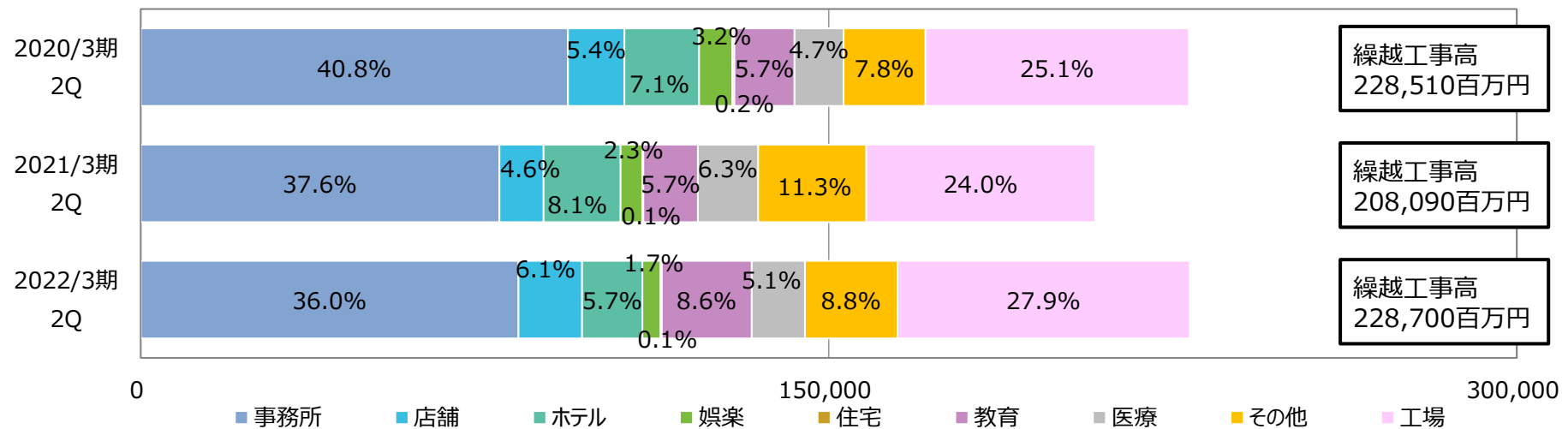
繰越工事高内訳（個別）

官公庁・民間・海外



(注) 当社国際G事業統括部のみの数値、海外は現地法人（連結子会社）を中心に展開している。

用途別



工事種類別受注・完成工事高（個別）

設備投資

(単位：百万円)

	2021/3期 2Q	2022/3期 2Q
連結	1,892	1,662
個別	1,610	1,500

元請負・下請負比率

(単位：%)

		2021/3期 2Q	2022/3期 2Q
個別	元請負	43.0	52.2
	下請負	57.0	47.8

減価償却費（固定資産）

(単位：百万円)

	2021/3期 2Q	2022/3期 2Q
連結	745	834
個別	397	473

当期受注かつ当期完成比率

(単位：%)

	2021/3期 2Q	2022/3期 2Q
個別	17.8	18.3

研究開発費

(単位：百万円)

	2021/3期 2Q	2022/3期 2Q
連結	394	416
個別	349	382

期末従業員数

(単位：名)

	2021/3期 2Q	2021/3期	2022/3期 2Q
連結	5,902	5,890	6,025
個別	2,121	2,116	2,160

将来予測に関する注意事項

この資料に掲載してある将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

このため、実際の結果と大きく異なったり、予告なしに変更される可能性がありますので、あらかじめ御了承ください。

IRに関するお問い合わせ先

高砂熱学工業株式会社

経営企画本部 広報部 中村、平木

〒160-0022 東京都新宿区新宿6-27-30 新宿イーストサイドスクエア12階

TEL : 03-6369-8215 FAX : 03-6369-9103

メールアドレス :

isao_nakamura@tte-net.com; terumasa_hiraki@tte-net.com